事業番号	10 04 03 事業改善シート (令和5年度実施	事業分)	□当初要求	□当初予	5算案 □補正予算案 ■点検
事業名	森林病害虫防除事業	部局	林務部	課·室	森林づくり推進課
尹 未 石	林怀州古玉则际争未	実施期間	S56 ~	E-mail	shinrin @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- ・松くい虫については、被害量は全体的には減少傾向にあるものの一部地域では増加していることから、守るべき松林と周辺松林を集中に対策を行い、被害の拡大を防止する必要がある。
- ・予防対策として空中散布等の松くい虫対策を実施には、地域住民との丁寧な説明による合意形成が必要。
- ・カシノナガキクイムシについては、被害量が2,000本程度で推移しているが、早期発見による駆除とライフライン等への倒木防止対策が必要。

2 事業目的

急峻で脆弱な県土の防災や、信州の原風景の保全上重要な役割を果たしているアカマツ林等を保全するとともに、木材やマツタケ等の林産物の生産を確保するため、松くい虫等被害区域の拡大防止を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①予防事業(薬剤散布等)

守るべき重要な松林への松くい虫被害を予防するために広範囲で行う空中散布を実施

天然記念物や史跡名勝、文化財等に指定されている貴重な松林への松くい虫被害を予防するために単木的に行う薬剤の樹幹注入の実施

②駆除事業(被害木の伐倒駆除)

守るべき松林や周辺松林で発生した松くい虫被害木の伐倒駆除を適期に重点的に実施し、被害拡大の防止を図る。

病害虫被害森林の早期復旧及び地域資源の有効活用を図るため、バイオマス発電等の燃料材として枯損木を利活用する取組を支援

③カシノナガキクイムシによる広葉樹被害の予防及び駆除

カシノナガキクイムシによる広葉樹被害(ナラ枯れ)の予防及び駆除を実施し被害の拡大の防止を図る。

4 成果指標

(推移の凡例 / : 改善 > : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名		R3年度	R4年	度	R5年	度	R5年度	達成	目標値設定理由
NO.			実績	実績	推移	実績	推移	目標値	状況	日保心改足。
12	松くい虫被害量	m	51,443	53,949	Ŋ	55,280				松くい虫被害量を前年度以下に抑制することを目標とする。
3	カシノナガキクイムシ被害量	m³	2,173	2,049	7	3,413	Ŋ	2,173	未達成	カシノナガキクイムシ被害量を前年度以下に抑制することを目標と する。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野(施策の総合的展開名)	達成目標		直近3か年の状況						目標	
INO.	0. ルネク野(ルネの総合的接用名)	(★印が付いているものは主要目標)	単位	年	数值	年	数值	年	数值	年	数值
1-2①	災害に強い県づくりの推進										

6 事業コスト (単位: 千円、人)

<u> </u>							(1 = 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
区分	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
R5年度	0	171,269	14,543	185,812	57,312	183,558	12.0
R4年度	0	188,140	△ 40,419	147,721	58,633	134,195	12.0
R3年度	85,815	304,023	△ 39,595	350,243	77,013	338,533	12.0

事業番号	10 04 03 事業改善シート(令和5年度実施	<u>事業分)</u>	□当初要求	□当初予	·算案 □補正予算案 ■点検
事業名	森林病害虫防除事業	部局	林務部	課·室	森林づくり推進課

7 主な取組実績と成果

①予防事業 (薬剤散布等)

- ・守るべき重要な松林への松くい虫被害を予防するためにマッノマダラカミキリが羽化する 6 月の適期にヘリコプターや人力による薬剤散布を行った(空中散布211ha、地上散布31ha) ことにより、発生抑止に寄与した
- ・天然記念物や史跡名勝、文化財等に指定されている貴重な松林への松くい虫被害を予防するために単木的に行う薬剤の樹幹注入 について 2 地区 100本の松で実施し、被害発生を抑止した

②駆除事業(被害木の伐倒駆除)

・守るべき松林や周辺松林で発生した松くい虫被害木について、国庫や県単予算による伐倒駆除(5,612m3)を実施した結果、昨年度の被害発生面積率33%から25%に減少し、被害の拡大を最小限に抑えることができた

③カシノナガキクイムシによる広葉樹被害の予防及び駆除

・ナラ枯れをもたらすカシノナガキクイムシは、初夏に被害木から脱出し、健全な広葉樹(ナラ類)に新たに飛来するため、被害木の早期発見、早期対策(被害木伐倒駆除 222㎡、立木くん蒸147本)を実施し被害の拡大を最小限に抑えることができ、被害のまん延防止が図られた



【ナラ枯れ被害木くん蒸処理の様子】

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①② 松くい虫被害量 | R4年度推移 | ン R5年度推移 | ン | 達成状況 | 未達成

松くい虫防除対策として予防事業と駆除事業の促進を図り被害が減少した地域もあるが、局所的に増加した地域もあり、県全体としては目標は未達成となった。

指標③ カシノナガキクイムシ被害量 R4年度推移 7 R5年度推移 3 達成状況 未達成

カシノナガキクイムシ枯損木の早期発見、伐倒駆除対策により令和4年度まで減少していたが、令和5年度は、夏季の高温と降水量が少なかったこと及びカシノナガキクイムシの活動が活発になったことにより枯損木が増加したことが推測され、目標は未達成となった。

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・松くい虫被害量については平成27年度をピークに減少傾向であり、駆除対策による一定の効果は見られるが、令和5年度は前年度被害量より増加しており、高止まりの状況である。予算、労務等の制約から駆除対策に限界があることから、守るべき松林とその周辺に特化した対策が必要。
- ・予防対策として、空中散布等による松くい虫対策を集中して実施するためには、地域住民との丁寧な合意形成が必要。
- ・カシノナガキクイムシによる広葉樹の枯損被害については、枯損木が増加したことにより令和 5 年度は前年度被害量より増加しているため、早期発見と駆除を行っていくことが必要。

(2) 事業改善の方策

- ・松くい虫被害量を減少させるため、守るべき松林を一層絞り込み、選択と集中により対策を実施
- ・事業実施のための予算確保と、地域住民との合意形成が引続き得られるよう、森林保護専門員による技術支援を継続
- ・カシノナガキクイムシ被害の対策として、ライフライン等に近接した被害木の早期発見と適期の駆除を実施

事業番号	10 04 03	細事業一覧	(令和5年度実施事	業分)	□当初要求	□当初予	5算案 □補正予算案 ■点検
事業名	森林病害	虫防除事業		部局	林務部	課·室	森林づくり推進課

細事業 No.	細事業	名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額				
1	松林健全化推進事業			326,058 千円	125,338 千円	174,907 千円				
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容	容(実績)(上段:	事業概要、下段:活					
1	被害木調査及び駆除指導	直接	被害の早期発見と診断を実施し、感染が確認された場合は駆除等の技術指導を 実施 早期診断件数163件、金額 325千円							
2	被害木の駆除事業	補助金	横切金 松(い虫被害木の伐倒駆除							
3	樹幹注入剤利用松林保全対策事業	補助金	特に重要な松林における薬剤樹幹注入による被害予防 薬剤樹幹注入件数100本、補助総額 1,833千円							
4	薬剤散布事業	守るべき重要な松林において行う薬剤の散布及び市町村が行う環境影響調査								
5	環境影響調査委託費	直接	空中薬剤散布 (特 よる県の調査)	別防除)の昆虫類、 3回、大気24検体・	大気・土壌への影響	調査(国との契約に				
6	松くい虫対策見える化・管理事業	直接	被害先端地域や高標高地における松くい虫被害木の単木発生位置情報の見える 化 地域区分図の更新1回、被害レベルマップの更新1回、金額 1,136千円							
7	地域木質資源活用緊急対策事業	補助金	森林病害虫被害枯損木を伐採・搬出し木質バイオマス発電等の燃料に利活用する取組を支援 伐採・搬出量1,543㎡、補助総額 49,237千円							

細事業 No.	細事業	名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額					
2	広葉樹等枯損対策事業			12,475	8,857	8,651				
				千円	千円	千円				
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容	容(実績)(上段:	事業概要、下段:活	動によるアウトプット)				
1	被害木の駆除事業 等	補助金	カシノナガキクイムシによる広葉樹の被害木の伐倒駆除及び立木くん蒸							
			被害木伐倒駆除 222㎡、立木くん蒸 147本、補助総額 8,651千円							